

歯科材料5 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科接着用レジンセメント 70836002
(歯科セラミックス用接着材料 70815000)
(歯科用練成器具 70682000)

ブロックHCセム

再使用禁止（ミキサーチップ）

【禁忌・禁止】

- 1) 本材又はメタクリル酸系モノマー、アセトンに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- 2) ミキサーチップは再使用しないこと。

【形状、構造及び原理】

【構成】

構成	性状	成分
HCプライマー	液	UDMA、MMA、アセトン、反応開始材、その他
ペースト		
ペーストA	ペースト	UDMA、フルオロアルミノシリケートガラス、ガラス粉、反応開始材、その他
ペーストB	ペースト	UDMA、2-HEMA、カルボン酸系モノマー、ホスホン酸系モノマー、ジルコニウムシリケート、反応開始材、その他
プライマー		
プライマーA	液	精製水、アセトン、反応開始材、その他
プライマーB	液	2-HEMA、カルボン酸系モノマー、アセトン、その他
ミキサーチップ*	—	ポリプロピレン、ポリアセタール

【ペーストの色調：I（アイボリー）】

※歯科用練成器具：「松風ミキシングセット」

届出番号 26B1X00004000229

（ペースト オートミキシングのみ）

【原理】

HCプライマーは、本材に含まれる接着性モノマーが歯科切削加工用レジン材料の表面を改質することにより、接着を促進し、可視光線エネルギーによって重合硬化する。

ペーストは、可視光線によって光重合すると同時に化学重合によって硬化するデュアルキュアタイプである。

プライマーは、本材に含まれる接着性モノマー及び反応開始材により、接着を促進する。

【仕様】

JIS T 6611:2009「歯科用レジンセメント」

タイプ1（接着性）、クラス3（デュアルキュア型）

項目	仕様	
	JIS	自社
操作時間（23℃）	60秒以上	110秒以上
硬化時間（37℃）	10分以下	標準硬化時間 4分（3～8分）
接着強さ（MPa）	対牛歯 象牙質 2以上	引張接着強さ* 対歯科切削加工用レジン材料 5.0以上
		剪断接着強さ* 対牛歯 エナメル質 10.0以上 対牛歯 象牙質 5.0以上

※自社試験方法

【使用目的又は効果】

歯科修復物・歯科修復材・歯科装置・口腔内硬組織のいずれかの相互間の接着に用いる。

各構成品の使用用途

HCプライマーは歯科切削加工用レジン材料（無機フィラーを含む）で作製した歯科修復物等の接着に用いる。

ペーストは歯科修復物等と支台歯の合着に用いる。

プライマーはペーストの前処理材として支台歯との接着に用いる。

ミキサーチップはオートミキシングシリンジに装着し、ペーストA及びペーストBを自動練和するために用いる。これらの構成品を予め組み合わせるにより、歯科切削加工用レジン材料で作製した歯科修復物等と支台歯との接着に用いると同時に、各種被着体への接着に対応できるよう、利便性の向上を図ったものである。

【使用目的又は効果に関連する使用上の注意】

【使用方法等】の【本材に使用する歯科重合用光照射器と照射時間】に記載した歯科重合用光照射器と同等の放射照度を有する歯科重合用光照射器を使用すること。他の歯科重合用光照射器等を使用する場合は、付属の添付文書等を参考に本材に適した照射時間を確保すること。

*【使用方法等】

【本材と併用する材料】

- *1) 歯科用象牙質接着材・歯科金属用接着材料・歯科セラミックス用接着材料
「松風ビューティボンド ユニバーサル」
(認証番号：230AFBZX00001000)

*【本材に使用する歯科重合用光照射器と照射時間】

- 1) ハロゲン照射器
ハロゲンランプを光源とし、有効波長域 400～500nm の放射照度が 500mW/cm² 以上である歯科重合用光照射器
- 2) LED 照射器
青色 LED（照射器発光スペクトルに単一ピークあり）を光源とし、有効波長域 440～490nm の放射照度が 1000mW/cm² 以上である歯科重合用光照射器

歯科重合用光照射器による照射時間

歯科重合用光照射器	ハロゲン照射器	LED 照射器
照射時間	20 秒	10 秒

【使用方法】

1) 窩洞・支台歯の前処理

- ①窩洞・支台歯の清掃
通法に従い、仮封材・仮着材を除去し、窩洞・支台歯の水洗及び乾燥を行います。
- ②歯髄保護
残存象牙質が薄い場合は、水酸化カルシウム製剤等で覆髄処置を行います。
- ③防湿
防湿（ラバーダム等を用いる）又は簡易防湿を行います。

*2) 支台歯の前処理

<プライマーA/Bを用いる場合>



支台歯が歯質（エナメル質/象牙質）の場合

プライマーA、Bを等量（1滴ずつ）ディスポーザブルディッシュ（松風Vディッシュ等）に採取し、混合後、ディスポーザブルブラシを用い、被着面の歯質（エナメル質/象牙質）に塗布し、20秒間放置後、エア乾燥を行います。



支台歯が金属の場合

被着面に歯科金属用接着材料（メタルリンク等）を、ディスポーザブルブラシを用いて一層塗布後、各材料の添付文書に従い処理します。その後、支台歯が歯質の場合と同様に、プライマーA、Bを等量（1滴ずつ）ディスポーザブルディッシュに採取し、混合後、支台歯全体を処理します。



支台歯がコンポジットレジンの場合

被着面に歯科セラミックス用接着材料（松風ポーセレンプライマー等）を、ディスポーザブルブラシを用いて塗布し、各材料の添付文書に従い処理します。その後、支台歯が歯質の場合と同様に、プライマーA、Bを等量（1滴ずつ）ディスポーザブルディッシュに採取し、混合後、支台歯全体を処理します。



＜松風ビューティボンド ユニバーサルを用いる場合＞

支台歯が歯質（エナメル質/象牙質）又は金属の場合

松風ビューティボンド ユニバーサルのビューティボンドユニバーサルとビューティボンド ユニバーサル DCAを等量（1滴ずつ）ディスポーザブルディッシュに採取し、ディスポーザブルブラシを用いて混合後、被着面に塗布し、10秒間放置後、弱圧のエア乾燥を約3秒間行った後、エアを強めて十分に乾燥します。

支台歯がコンポジットレジンの場合

松風ビューティボンド ユニバーサルのビューティボンドユニバーサルとビューティボンド ユニバーサル DCAを等量（1滴ずつ）ディスポーザブルディッシュに採取し、ディスポーザブルブラシを用いて混合後、被着面に塗布します。次いで、ポーセレン アクティベーターを混和液処理面に塗布し、5秒以上こすり処理を行います。その後、弱圧のエア乾燥を約3秒間行った後、エアを強めて十分に乾燥します。

3) 歯科修復物の前処理

歯科修復物の前処理一覧表

被着面の材質	CADCAM レジン ブロック	金属	アルミナ ジルコニア	陶材 硬質レジン
修復物の処理				
サンドブラスト 処理：ゲージ圧 MPa (kgf/cm ²)	0.2～0.3 (2～3)	0.3～0.5 (3～5)	0.2～0.3 (2～3)	0.1～0.2 (1～2)
洗浄	超音波洗浄+エア乾燥			
プライマー	HC プライマー	不要	不要	松風 ポーセレン プライマー
乾燥	エア乾燥	-	-	自然乾燥

被着面が CADCAM レジンブロックの場合

- ①接着させようとする CADCAM レジンブロック（松風ブロック HC 等）の被着面を 50～100 μ m のアルミナ粒子により 0.2～0.3MPa のゲージ圧でサンドブラスト処理を行い、超音波洗浄器を用いて水洗し、エア乾燥を行います。CADCAM レジンブロックの添付文書等に従って、サンドブラスト圧を調整してください。
- ②本材の HC プライマーをディスポーザブルディッシュに適量採取し、被着面全体にディスポーザブルブラシを用いて一層塗布し、エア乾燥を塗布面が動かなくなるまで行います。なお、遮蔽性の高い色調の CADCAM レジンブロックを用いる場合は、被着面に対して歯科重合用照射器を用いて所定の時間、光照射を行ってください。

被着面が金属の場合

接着させようとする金属被着面を 50～100 μ m のアルミナ粒子により 0.3～0.5MPa のゲージ圧でサンドブラスト処理を行い、超音波洗浄器を用いて水洗し、エア乾燥を行います。

被着面がアルミナ又はジルコニアを主成分とするセラミックスの場合

接着させようとするアルミナ又はジルコニアを主成分としたセラミックスの被着面を 50～100 μ m のアルミナ粒子により 0.2～0.3MPa のゲージ圧でサンドブラスト処理を行い、超音波洗浄器を用いて水洗し、エア乾燥を行います。

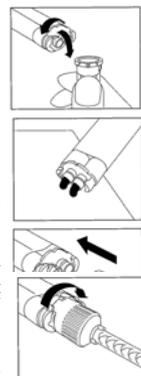
被着面が硬質レジン、コンポジットレジン又は陶材の場合（CADCAM レジンブロックを除く）

- ①接着させようとする硬質レジン、コンポジットレジン又は陶材の被着面を 50～100 μ m のアルミナ粒子により 0.1～0.2MPa のゲージ圧でサンドブラスト処理を行い、超音波洗浄器を用いて水洗し、エア乾燥を行います。
- *②歯科セラミックス用接着材料（松風ポーセレンプライマー、松風ビューティボンド ユニバーサルのポーセレンアクティベーター等）をディスポーザブルディッシュに適量採取し、被着面全体にディスポーザブルブラシを用いて一層塗布し、各材料の添付文書に従い処理します。

* 4) ペーストの混練及び塗布

オートミキシングの操作

- ①キャップを反時計回りに 1/4 回転させキャップの突起部とシリンジの溝部を合わせ、根元を持って下方向に折るようになり取り外します。
- ②プランジャーを押し、ペーストを少量排出し、ペースト A、ペースト B が均等に排出することを確認します。また、2 回目以降のご使用の際も、同様にご確認ください。
- ③ミキサーチップをシリンジの溝に合わせて奥まで押し込み、時計回りに 1/4 回転させて装着します。
- ④プランジャーを押し、自動練和によりペーストを排出して、前処理した歯科修復物の被着面に塗布します。



ハンドミキシングの操作

- ①Wシリンジのキャップを取り外します。ノズル先端を紙練

板上に軽く接してプランジャーを押し、ペースト A、ペースト B を等長で排出します。排出後、ノズル先端をガーゼ等で拭き、キャップを確実に取り付けます。

② 排出したペーストをプラスチック製のスパチュラを用い、10 秒間充分に練和します。練和したペーストを通法に従って前処理した歯科修復物の被着面に塗布します。

5) 歯科修復物の装着
歯科修復物を窩洞・支台歯に装着し、歯科修復物が動かないように保持します。

6) 余剰セメントの除去

① 光照射器（ハロゲン照射器又は LED 照射器）を用いる場合
余剰セメントに 1～2 秒間光照射を行い、探針等を用いて半硬化した余剰セメントの除去を行います。

② 光の届かない部位の場合
口腔内装着 3～4 分後に探針等を用いて半硬化した余剰セメントの除去を行います。

7) セメントの硬化

マージン部及び各面に対して歯科重合用光照射器を用いて所定の時間、光照射により光硬化させます。ただし、光が届かない部位の場合は、歯科修復物装着後約 5 分間保持することにより化学硬化させます。

8) 研磨、仕上げ

通法に従い、マージン部の仕上げ研磨、及び咬合調整を行います。

[使用方法に関連する使用上の注意]

1) ユージノール系の材料及び過酸化水素水は、硬化・接着を阻害する可能性があるため使用しないこと。

* 2) 処置する際は排唾管又はバキューム等を作動させること。
3) ペーストが隣在歯に付着して硬化すると除去が困難になるため、予めポリエステルフィルム等を歯間部に使用すること。

4) 本材は、冷蔵から室温に戻してから使用すること。（プライマー及び HC プライマーは多量に液が出ることがあります。）

* 5) プライマー及び HC プライマーは揮発成分を含んでいるため、採取後すみやかに密栓すること。また、採取後、すみやかに使用すること。

6) 本材を塗布する歯科修復物の被着面は汚染されないよう注意すること。もし、本材を塗布する被着面が唾液・血液等で汚染された場合は、例えばアルコール綿球等を用いて汚染された面を十分に清掃し、乾燥させ、再度本材を塗布すること。

* 7) 採取後の本材は、感染防止のため同一患者のみに使用すること。

* 8) ディスポーザブルディッシュ及びディスポーザブルブラシは感染防止のため再使用しないこと。

9) シリンジ先端部のペーストが固くなっている場合は、先端部の固くなった部分のペーストを廃棄してから使用すること。

10) ペーストは口腔内の歯に直接塗布しないこと。必ず歯科修復物側に塗布を行い、プライマーを塗布した歯面側には塗布しないこと。

11) 本材は、使用後速やかに蓋を締めて保管すること。ペーストはキャップをしないまま放置すると硬化するので注意すること。

12) マージン部に十分な光照射を行うこと。（CAD/CAM レジンブロック等の歯科修復物の装着においては、マージン部に十分な光照射を行うことで接着がより安定します。）

13) 歯科重合用光照射器を用いた光照射時において、術者は照射光の直視を避け、保護眼鏡や遮光版等を使用すること。また、術者は患者の目に照射光が直接当たらないよう保護すること。

* 14) 使用後は、歯科重合用光照射器は感染防止のため、アルコールで清拭すること。

15) 使用後は、キャップを再装着するか、使用したミキサーチップを装着したまま保管し、次回使用する際、新しいミキサーチップを装着すること。
キャップを再装着する場合は、キャップに付着しているペーストを十分に拭き取ってから装着すること。

* 【使用上の注意】

[重要な基本的注意]

1) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。

2) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。

3) 本材又はメタクリル酸系モノマー、アセトンに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。

4) 本材の HC プライマーはメタクリル酸系モノマー及びアセトンを含んでいるため、蒸気を吸入しないこと。万一、気分が悪くなった場合は、新鮮な空気の中で暖かくして休憩すること。また、頭痛、めまい、吐き気、呼吸困難等の重篤な症状を伴う場合は、すぐに医師の診察を受けること。

5) 本材のプライマーはアセトンを含んでいるため、換気のよい場所で使用すること。万一、本材の蒸気を吸入して気分が悪くなった場合は、新鮮な空気の中で暖かくして休憩すること。

6) 本材の HC プライマー及びプライマーは可燃性であるため、必ず火気を避けて使用すること。

7) 本材との接触による過敏症を防ぐため、医療用（歯科用）手袋及び保護眼鏡の着用等の防護措置を執ること。また、口腔軟組織や皮膚に付着した場合には、すぐにアルコール綿等で拭いた後、大量の流水で洗浄すること。なお、医療用（歯科用）手袋は本材の直接的な接触を防ぐが、一部のモノマーが短時間のうちに浸透することが知られているので、本材が付着した場合は直ちに手袋を捨て、流水で充分洗浄すること。

8) 本材が万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。

* [その他の注意]

プライマー A と B の混和液が患部以外の部位に付着しないように充分注意すること。本材が歯肉等の粘膜に付着した場合、その部分が白っぽくなるがありますが、これは一過性の現象で、2～3 日で白変は消失します。なお、この間は、白変部分に直接的な刺激を与えないように配慮すること。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

・本材は、高温、多湿、直射日光、火気等を避けて、冷蔵庫（1～10℃）で保管すること。

・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

[有効期間]

本材の使用期限は包装に記載のとおり。

[当社データによる]

※(例) ☞ YYY-YY-MM-DD は→使用期限 YYY 年 MM 月 DD 日を示す)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者	株式会社 松風
住所	〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町 11
電話番号	075-561-1112